



線路も道路も走れる優れもの、
DMVに乗ってみました

文・イラストレーション・写真：始発ちゃん

太平洋の海原を横目に、線路と道路の両方を走る
世界初の可愛い乗り物 DMV（デュアル・モード・ビークル）。
沿線にはたくさんのお見どころも。始発ちゃんが、イラストを交えてご案内します。



阿波海南文化村の待合所に来て来た DMV（上）と甲浦駅にあった DMV の看板（右）



室戸岬へ向かう
遍路道で見つけた椿

阿佐海岸鉄道株式会社

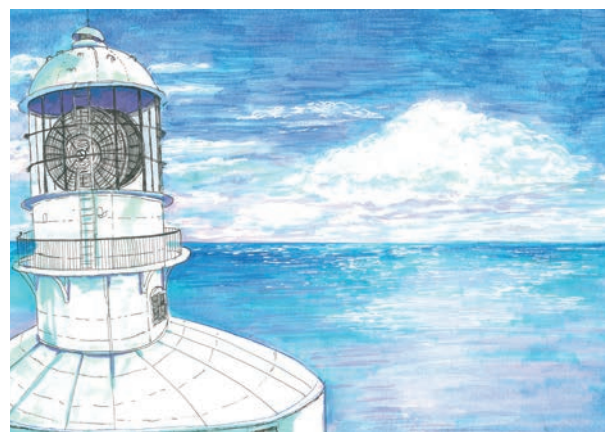
- 設立 1988 年 9 月 17 日
- 区間 阿佐東線（阿波海南文化村・阿波海南駅・甲浦駅・道の駅穴喰温泉間、土休日はさらに阿波海南文化村・阿波海南駅・甲浦駅・海の駅とろむ間）
- <https://asatetu.com/>

DMV を発見！

「ふう…」。息を吐くと水色の雲のように見えました。目の前は広い海と空。阿佐海岸鉄道の取材で私は道の駅 穴喰温泉に来ておりました。宮殿のような建築がとてもユニークな道の駅です。私は寒空の下、ベンチに座って自販機で買った、あったか～いお茶を飲みました。耳を澄ますと、ヒュロロロロ…とトンビの鳴き声が響きます。続いて、カァカァ…とカモメの鳴き声も響きました。鳥の鳴き声なんて久しく聞かなかったなあと思い、しばらく耳を傾けました。そうしていると、普段のストレスが少しずつ、少しずつ消えていく感じがします。

時の流れに身を任せて、ゆったりと過ごしていると、目の道路を可愛らしいブルーの乗り物が通り過ぎました。その

乗り物の名前は DMV (デュアル・モード・ビークル)。列車がバスに、バスが列車になる、世界初の乗り物です。見つけた車両はタイヤで走るバスモードの DMV でした。「特別な乗り物が 1 つ町にあるだけで、なんて素敵なんだろう…」と好奇心をくすぐられました。道の駅には波に乗った DMV とサーフボードが描かれ



室戸岬灯台と太平洋



阿波海南文化村にあるトリックアート

た、飛び出すトリックアートの撮影コーナーが作られていました。

穴喰の街を歩いていると、カモメの形をした大きな橋に出合いました。橋の弧の部分がカモメの翼になっており、とてもユニークでした。

阿波海南文化村で箸作りを体験

阿佐海岸鉄道の始発駅、阿波海南文化村を訪れました。博物館ではホンモノの日本刀を持つことができ、工芸館では染色や木工の体験ができます。私は工芸館で予約していた「箸作り体験」に参加しました。工芸の先生はとても聡明な方で、手取り足取りいろいろなことを教えてくださいました。例えば箸作りに使用するナンテンの木に関して、「箸にナンテンの木材を使うのは『ナンをテンずる（難を転ずる）』、良いほうに良いほうに回っていく縁起物だからですよ」と優しく教えてくださいました。ただ体験するだけでなく、人と人との温かいつながりを感じました。

阿波海南文化村の工芸体験で作ったナンテンの木の箸。勾玉のネックレスも作りました



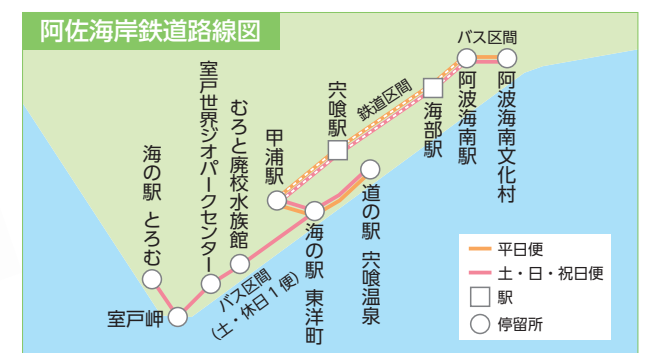
手作りきゅうりドッグにびっくり

鉄道としての始発駅、阿波海南駅はバスで来た DMV がモードチェンジする駅です。「スタート」という音声が聞こえると、たった 15 秒でバスモードから鉄道モードになりました。さっきまで道路を走っていたのに、すぐ線路の上を走れるなんて驚きでした。遊園地のアトラクションに乗った気分、毎日をこんな素敵な乗り物に乗って過ごせたら楽しいだろうなあと心が躍りました。

海部駅で降りると、すぐ横のホームに、DMV になる前の車両「ASA-101」が保存されていました。車内を覗くと、思いの込められた手紙がたくさん飾られて



海部駅にある保存車「ASA-101」



鉄道・運輸機構（旧日本鉄道建設公団）が建設した 阿佐海岸鉄道 阿佐東線

阿波海南駅から甲浦駅までの約 10 km を結ぶ阿佐東線。海部・甲浦間約 8.5 km は日本鉄道建設公団が建設し、1992 年 3 月に開業しました。その後、JR 四国の駅として営業している阿波海南駅を阿佐東線との接続駅とし、DMV を運行させるための本格営業運行は 2021 年 12 月に開始したばかり。世界初の本格営業運行に、ますます注目が高まっています。



1991 年 10 月に行われたレール締結式
(上) 第 4 穴喰トンネル付近 (右)



…」と思えるくらい美しい景色でした。

室戸から阿波海南文化村方面に戻る DMV に乗って、お昼ご飯を食べに「海の駅 東洋町」へ。私が注文したのはお刺身定食でした。お手頃価格で、こんなにたくさんお刺身が食べられるなんて夢のようで、とても幸せでした。また、食事をするカウンターからは海を眺めることができます。

綺麗な景色、美味しい食べ物、人の優しさ…そして何より、DMV を中心に街が活気に溢れているのを感じました。また訪問して、ゆっくりとした時間を過ごしたいと思います。



「海の駅 東洋町」で
食べたお刺身定食



道の駅 穴喰温泉前に停まっていたバスモードの DMV

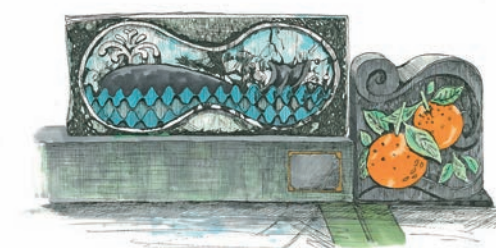
「道」の駅「とろむ」へ行くことができます。太平洋に抱かれた自然の聖地・室戸は、なかなか気軽に行ける場所ではありませんが、駅から DMV に乗って行けるなんてとても便利です。私はずっと気になっていた室戸岬灯台へ行くため、室戸岬で下車をしました。バス停を降りてすぐ海側にある小道では、温暖な気候にしか生息しないアコウの木が待ち構えておりました。無数の枝、根っこまで見える圧倒的な生命力に感動の嵐です。

室戸岬灯台に行くには、四国霊場 24 番札所「最御崎寺」へ続く遍路道を歩きます。最初は楽々と登っていたものの、中盤では膝がぶるぶると震えてきて、日頃の運動不足を感じざるを得ません。日常生活から離れて旅をすると、自分の生活を見直すきっかけになりますね。

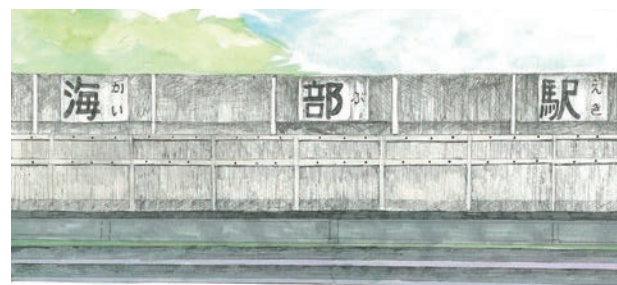
椿の花のトンネルを抜け、最御崎寺まで辿り着くと室戸岬灯台が現れました。目の前に広がるのは存在感のある大きな灯台、そしてとんでもなく広い海と空。今まで感じたことのないような清々しい風に吹かれました。「ここで 1 日のんびり海と空の移り変わりを観察してみたい



「海の駅 東洋町」近くの海



甲浦駅近くの橋。
ぼんかんと鯨が描かれています



海部駅の高架にある駅名標

れなくなり途方に暮れていました。「どうしよう…」と眉をひそめていると、駅員さんがたくさんの時刻表を見比べて、一生懸命バスの時刻を調べてくださいました。「穴喰駅から DMV で海の駅 東洋町へ。バスに乗り換えて室戸診療所で乗り換え。ごめんなはり線奈半利駅で降りて、列車で高知まで行けます。5 分後の DMV に乗れば終電に間に合います！」その声は、まさに一筋の光でした。駅員さんに助けてもらえなかったらどこかの路頭で迷っていたかもしれません。私にとって穴喰駅は親切にいただいた温かな思い出の駅です。

久しぶりに訪れた穴喰駅では、イルミネーションのイベントが開催されていました。ホームの端から端まで、まるで星空を見ているような電飾でいっぱいになっておりました。駅員さんの優しさや、心の温かさがたくさんの光になって輝いているみたいで、ずっとそこに居たくなるような心地の良いイルミネーションでした。

室戸岬での美しい光景

阿佐海岸鉄道では土休日に一往復の便に乗って、「むろと廃校水族館」「室戸世



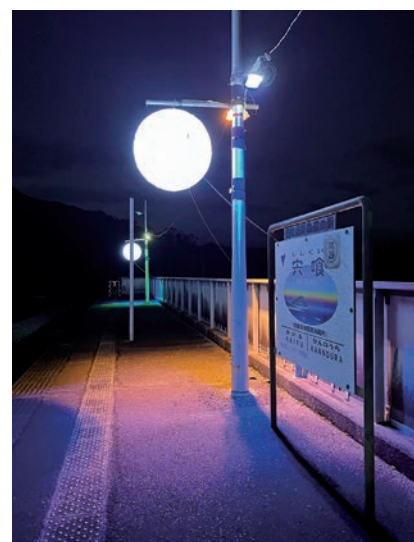
いました。みんなに愛されてきたんだなぁと胸が熱くなりました。

お腹が空いてきたので、お弁当を買おうと近くのスーパーへ立ち寄ったところ、驚きの食べ物を見つけました。なんときゅうりが丸々 1 本挟まったパンが店頭に並んでいたのです！食べてみると、癖になる味でとても美味しい。店員さんに聞くと、手作りの糠漬けで、きゅうりの下にはゆず味噌が塗られているとのこと。丁寧に作られたきゅうりドッグ、ぜひ皆様にもご賞味いただきたいです。

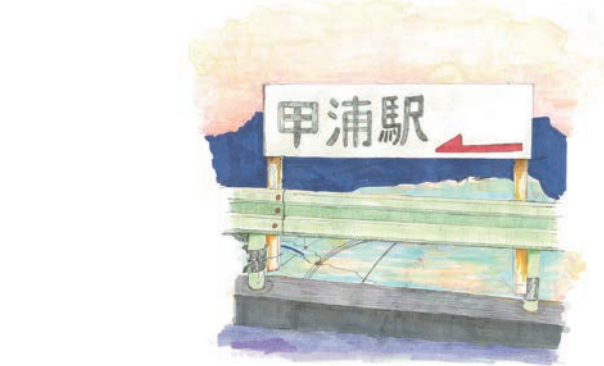
穴喰駅での思い出

穴喰駅で降りた時、以前にこんなことがあったのをふと思い出しました。5 月の阿佐海岸鉄道は、初夏の日差しに照らされていました。穴喰駅の駅裏には大きな半月の窓がありますが、その窓が水田に反射して、1 つの大きな月のように見えました。水田の風景と駅舎の建築美を同時に見られるなんて、素敵な場所だなぁと思わず心がグッと熱くなったのを覚えています。

あの時の私は、バスの本数が少ないのを失念していて、穴喰駅から高知駅に帰



Nice View
穴喰駅のイルミネーション。駅名標が手前に見えます (左)。右は山側の三角と球のイルミネーション



甲浦駅近くの駅案内。後ろには川が流れています



スーパーで見つけた
きゅうりドッグ



海部駅周辺にいた猫